

# やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞



vol.178  
2021.1

新年のごあいさつ

「2021年は、新しい時代の幕開けに」 ..... 1ページ

やまと石材・スタッフ

2021年・今年のご目標!! ..... 2ページ

〔特集〕青森朝日放送様主催・情報番組「ハツピィ」

## 「石のプロ?」として 縄文遺跡をご紹介します

 ..... 3・4ページ

こんな時だからこそ・・・

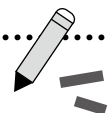
「写経」は現代のカウンセラー!? ..... 5ページ

お客様の声 ..... 6ページ

「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本  
良きご縁をありがとうございます ..... 7ページ



### みんなを笑顔にしてくれる「福笑い」



昔ながらのお正月の遊びには、羽根つきやかると、すごろく、凧あげなどが上げられます。その中でも「福笑い」は「笑う門には福来る」と縁起がいいことから、お正月らしい遊びとなりました。目隠しをして、顔の輪郭を描いた紙の上に、目や鼻を置いていくわけですが、出来上がりを見て目隠しをした人も、それを見ている人も、みんな笑顔になっていきます。忘れかけていたこのような遊びも、今の時代には貴重かもしれませんね。

福笑いにはマスクは付けず、思いっきり笑顔をつくりましょう!

新年のごあいさつ

# 「2021年は、 新しい時代の 幕開けに」



青森店営業部 川原田 寿樹

新年あけましておめでとうございます。  
川原田です。

コロナ禍の中迎える2021年。皆様は今年のお正月、どのようにお過ごしでしょうか。私は、自宅ですっきりと過ごす“楽ごもり正月”を計画しております。ある消費者調査によると年末年始の予定について「出かけず家で過ごす」と答えた人が64%で、昨年に比べ28ポイントも増えたそうです。お正月といえば家族・親族が一堂に会する家庭も多い中、「帰省しない」と答えた人が68%。これはコロナの影響で帰省したい気持ちはあっても、家族への配慮を優先した結果となりました。withコロナで一人一人の行動が試されている今、一日も早い終息を願うばかりです。

さて今年の干支は「辛丑（かのと・うし）」です。えっ「丑年」でないの？と思われる方も多いのではないのでしょうか。実は本来の干支というのは「十干（じっかん）」と、「十二支」を組み合わせたものなのです。この組み合わせは全部で60通りあるため60年経つと再び同じ干支となり、還暦の概念はここからきているようです。十干と十二支はそれぞれ植物の一生を表しています。「辛」は“草木が枯れ、新しくなろうとしている状態”、「丑」は“種から芽が、出ようとしている状態”、という意味があるようです。なんかいいですね、新しい出発の兆しを感じます。

干支は60年で一周するとお話ししました。では60年前の「辛丑」の年はいったいどんな出来事があったのでしょうか。2021年のちょうど60年前は1961年です。この年は「地球は青かった」で有名なガガーリンが人類初の宇宙飛行に成功。ジョン・F・ケネディが史上最年少で米大統領に就任。坂本九さんの「上を向いて歩こう」が世界中で大ヒット。NHKでもなお、放送されている「連続テレビ小説」と「みんなのうた」が開始されていた年でした。

1961年を振りかえってみますと「出発点」ともいえる時代の変わり目を感じます。「歴史は繰り返す」とよくいいます。私たちは今、コロナ禍による日常生活と価値観の変化で、まさに「新しい出発点」ともいえる「転換期」を迎えているのかもしれないね。

コロナ禍ではありますが、前向きに、でもがんびり過ぎず、毎日の暮らしを少しでも安心・快適に過ごせるよう工夫していきたいものです。

新年が皆様にとって最良の年であることを心よりお祈りいたします。



やまと石材・スタッフ

# 2021年・今年のご目標!!



川原田寿樹：今年は節目の五十歳。「五十知命」の言葉があるように、その使命が果たせられるように全力で取り組みます。

佐々木隆夫：仕事もプライベートも、着実に一歩ずつ前進が出来るように頑張ります！

宮崎 陽：健康管理に留意し、更なる成長意欲を持って行動します。

平田 響子：「この人に任せて良かった！」そう思っただけのような営業を目指して精進します。

山本 馨：今年は年男（36才ではない）なので良い一年にできるように頑張ります。

坂井理恵子：心身ともに健やかにをモットーに、元気に仕事に取り組みます。



西村 葉子：コロナウィルスの終息を願いつつ、改めて健康を意識する一年とします。

佐藤江里子：お仏壇のことはもちろん、お墓の相談にもきちんと対応できるようにします。



半沢 良典：No Rain, No Rainbow！（雨が降らないと虹は出ない）というハワイの諺があります。コロナを乗り越えましょう。

櫻庭 寿子：健康第一！心身ともに穏やかに・優しい気持ちで日々を過ごします。

安藤ちひろ：昨年は「面倒臭がらない1年」という目標でしたが、今年は「もっと面倒臭がらない1年」にします！



三浦 淳：今一度基本に立ち返り、さらに新たなチャレンジの年に行きます。

相内 翔太：何事にも誠心誠意努力する気持ちをもって取り組んでいきます。

伊藤 杏美：お墓やサービスを通してお客様の大きな信頼にこたえ満足を提供し続けられるよう一生懸命取り組んでまいります。



大澤 隆則：業務課としての1年が慌ただしく過ぎました。今年はチャレンジの気持ちで日々がんばります。

笹森 久男：体調をくずさないように、健康に気を付けて、丁寧な仕事をするように心掛けていきます。

加賀谷範隆：今年で50才！それなりに体力も落ちましたが、「気持ちは若く」をモットーにガンバります。

木村 直人：体調管理に気を付けて、安全作業で仕事を頑張っていきます。

〔特集〕青森朝日放送様主催・情報番組「ハッピー」

# 「石のプロ?」として 縄文遺跡をご紹介します



青森店営業部 宮崎 陽

こんにちは！青森店の宮崎です。今年最初の特集ページを任せられました。今年も皆様に愛されるやまと石材、そして宮崎も合わせて応援よろしくお願い致します。

## テレビに出ちゃいました！

先日、ついに業界人としてデビューさせて頂きました！・・・と、本人は思っております。

一体何事かと申しますと、皆さんご存じの青森朝日放送様がお届けします情報番組「ハッピー」の1コーナーに出演させて頂いたのです。しかも私一人ではありません。なんと！縄文探検娘になりきった「リンゴ娘のときさん」と一緒です（いわゆる共演です）。その内容はと申しますと、「みんなで一緒に、縄文文化について考えよう！」です。

こちらのコーナーに、私たちやまと石材が選ばれたのは、「石のプロとしての意見を・・・」という観点からでした。ここは石材のプロとして“ビシッと”的確に答えなければなりません。非常に責任重大なポジションです。ただでさえドキドキなのに、美人のときさんが隣にいるというだけで緊張はマックスです・・・汗。

当日、撮影現場に到着してまず驚いたことは、撮影に携わるスタッフの方々の多さです。場所は、青森市を流れる荒川の河川敷での撮影でした。カメラマンさんやディレクターさん、企画担当の方々併せて総勢10名で撮影に臨まれており、物づくりの大変さはどの業種でも変わらないと感じました。

## 石は重い！縄文人は凄い！

本題の内容ですが、舞台は「小牧野遺跡」です。小牧野遺跡を訪れた方であればご存じかと思いますが、そこには縄文人が作ったとされるストーンサークルがあります。多くのメディアでは「どのような意味があるのか」などに注目していますが、



テレビで紹介された小牧野遺跡のストーンサークルです。謎がいっぱいです。

今回の縄文探検隊は別の角度から「縄文人は、荒川から石を運んだとされているがどの様にして持って行ったのか？」がテーマとなっております。

そこで私の出番です！大きな石をわしづかみにし、力いっぱい持ち上げます。小さく見えても意外と重いんです。そんな私にときさんが熱い視線（かどうかはわかりませんが）を送ります。いつもの何倍も力が入ります！そこでふと思い浮かぶのは「これくらいの石で自分はヒーヒー言ってるけど、縄文人はどうやって運んだの!？」です。その時代は運搬の機材なんてあろうはずがありません。縄文人は凄い！の一言です。



やっぱり石って重いです。身をもって感じます。笑顔がだんだん引きつってきます。

詳しい内容は長くなるので割愛させていただきますが(気になる方はやまとスタッフブログに詳細がありますので御覧下さい)今回の企画の主旨は一昨年、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録へ向けて、推薦書のユネスコ提出が閣議で正式に決定しており、今回の縄文探検娘も世界文化遺産の登録・推進を目指してのものになります。



リンゴ娘のときさんも、ひとまわり小さな石に挑戦！素敵なポーズ、ありがとうございます！

## 青森県が誇る遺跡群を世界遺産へ！

縄文遺跡は、歴史的にも文化的にも貴重なものです。有名なところでは三内丸山遺跡もあります。こちらは「お墓参り（先祖供養）」という文化の発祥とも言われ、青森県が誇る遺跡でもあります。

小牧野遺跡をはじめとする北海道・北東北の遺跡群が、世界に発信できるよう、またその文化を次世代まで継承できるよう世界遺産への登録へ向けてみんなで協力し合えればと願っております。しくお願い致します。



撮影を終えてホッと一息……。世界遺産登録へ向けての私の思いが、皆様に通じればうれしく思います。

こんな時だからこそ・・・

# 「写経」は現代の カウンセラー!?



青森店営業部 平田 響子

今回は、皆さんご存知の「写経」についてお話ししたいと思います。

## 伝承と伝統

以前、ある記事の中に「伝承が古くからのものをそのまま後世に伝えていくことであるのに対し、伝統は同じ技術や材料をを使いつつも新しいことに挑戦し革新していくものだと考えられている」と記されておりました。

お墓参りやお仏壇など、日本の文化として、継承していかなければならない唯一無二のものかと思います。しかしながら後世へ繋いでいくにはその時代とのバランスをとることも大事なのでは？と、些細な言葉の違いですがつくづく感じた記事でした。

・・・そこで・・・

## 写経のありがたい効果とは!?

「写経」というのは一言でいうと「経典を書き写すこと」です。お釈迦様のありがたい教えをまとめた、数多くの経典の中で一番人気があるのが、宗派を問わない『般若心経』ではないでしょうか。この写経を繰り返すことで、その意味を感じとりながら学ぶことが出来ると言われてています。

「心身を清める修行」として使われる方もあるようですし、最近の研究では、脳の活性化に効果があることもわかっています。物を書くということは脳に刺激を与えるのに効果的な行為で、お手本通り写すために視覚やイメージ力を使うことも脳の活性化になるそうです。

そして何よりも心静かに何も考えない時間をもつということが、忙しい現代社会には必要なのかもしれませんね。



背筋を伸ばして、心清らかに・・・でもやっぱり緊張しますね。

## お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。  
本当にありがとうございました。

# ホツとして新年を迎えることができました。

青森市・K様

このたびはお世話になりました。

特に御社の西村葉子様には大変お世話になりました。  
西村様の商品知識の豊富さと丁寧な対応に  
安心して相談することができました。

また専門外の事もいろいろご教示していただき大変  
参考になりました。

おかげ様でここからの家族の法要等にも安心して臨む  
ことができましたと感謝しております。

旧年中に魂入れ、納骨を滞りなく終えることが  
できホツとして新年を迎えることができました。

本当にありがとうございました。



シンプルなデザインなので彫刻にこだわりました。書道家の方の「寄りそい」の文字が印象的で素敵なお墓となりました。

## 担当者からひとこと

この度は誠にありがとうございます。とても仲睦まじいご姉妹のお手伝いをさせていただき、私自身勉強になることもございました。時節柄、お身体にはお気をつけてお過ごし下さいませ。



ショールーム課 西村 葉子



# 「大切な人に贈りたい」 いつまでも語りつがれる絵本

## 「でんでんむしのかなしみ」

新美南吉／作 かみやしん／絵

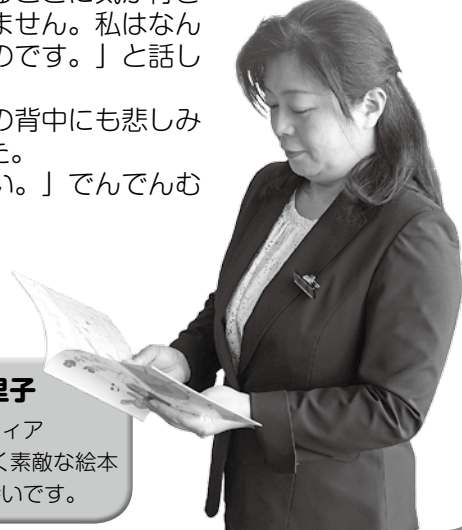
ある日、一匹のでんでんむしは、背中の殻の中に悲しみがいっぱい詰まっていることに気が付きました。そこで、友達のでんでんむしのところに行き「私はもう生きていられません。私はなんと不幸せなのでしょう。私の背中の殻の中には悲しみがいっぱい詰まっているのです。」と話しました。

すると、友達のでんでんむしは言いました「あなたばかりではありません。私の背中にも悲しみはいっぱいです。」そして、別の友達もまた別の友達も、同じことを言いました。

「悲しみは誰でも持っているのだ。私は私の悲しみを堪えていかなきゃならない。」でんでんむしは、嘆くのをやめたのでした。

悲しみを抱く人々の心に優しく手を差し伸べてくれる。そんな一冊ではないでしょうか。

「ぴょーん」という絵本があります。カエルや猫、犬、ウサギ、バッタなどいろいろな動物が元気よく飛び跳ねるお話で、子供たちと一緒に飛び跳ねます。途中で、でんでんむしが出てくると「だめだー」と言ってみんなズッコケてしまいます。でんでんむしの殻は重いからなあー。



**ショールーム課・佐藤江里子**  
絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。



# 良きご縁をありがとうございます

- |            |       |       |       |       |       |       |            |        |            |       |       |       |        |       |         |            |        |          |       |       |         |       |       |       |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|--------|------------|-------|-------|-------|--------|-------|---------|------------|--------|----------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|
| 東津軽郡外ヶ浜町三厩 | 青森市羽白 | 黒石市黒石 | 青森市勝田 | 青森市中央 | 青森市桂木 | 青森市駒込 | 東津軽郡平内町清水川 | 弘前市松森町 | 南津軽郡田舎館村畑中 | 青森市筒井 | 青森市桂木 | 青森市浦町 | 弘前市小栗山 | 青森市浪館 | 青森市浪岡浪岡 | 東津軽郡今別町砂ヶ森 | 弘前市撫牛子 | 平川市碓ヶ関久吉 | 弘前市田園 | 弘前市城南 | 青森市浪岡浪岡 | 青森市大野 | 青森市野内 | 青森市富田 |
| 柳谷様        | 米谷様   | 古川様   | 柿崎様   | 盛盛様   | 横山様   | 近藤様   | 船橋様        | 福士様    | 阿保様        | 笹森様   | 長尾様   | 大向様   | 齊藤様    | 神様    | 天内様     | 川口様        | 對馬様    | 大坊様      | 竹谷様   | 横山様   | 加藤様     | 須藤様   | 横内様   | 川原田様  |

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

## ご意見・ご感想・質問どんなことでもお便り下さい。

Landwork 日本最大36店舗の  
ランドワークグループ 墓石専門店グループ



【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13  
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1  
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatossekizai.com 青森 やまと石材  検索

〒036-8076  
弘前市境関1-1-1  
(株)やまと石材(弘前店)  
やまと通信係

〒030-0946  
青森市古館1-13-13  
(株)やまと石材(青森本店)  
やまと通信係

## 編集後記

「強いものが生き残るのではなく、変化に対応できるものが生き残る」ダーウィンの有名な言葉です。私たちも、このwithコロナの時代に対応して2021年を素晴らしい一年にしたいと思います！